

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
106-189	高等学校	外国語	英語コミュニケーション I	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	C I 015-903	VISTA English Communication I New Edition		

1. 編修の基本方針

本書は、英語教育を通して、次の3点を教育理念として掲げる。

1. 「ことばの教育」に資する

コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加えて、ことばを通して思考力・判断力・表現力を高め、豊かな言語観を育成する。

2. 「国際理解教育」に資する

ますます複雑化する国際社会の中で、比較文化の視点に立ち、世界のさまざまな言語や民族に対して目を向けさせ、人類としての共通性だけではなく、地域や民族の個性も同時に尊重し合う豊かな文化観と真の国際理解のための資質・能力を養う。

3. 「人間教育」に資する

今日のグローバル社会に生きる生徒たちに、英語を学びながら、人間としての生き方やものの見方、考え方、ならびに世界観に目を向けさせ、多様化する社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。

英語教育は、学校教育の一環としての人間形成の教育であり、ことばの教育を教科独自の課題とし、国際理解教育に対してはとりわけ大きな役割を担っている。この認識に基づき、上記3点の教育理念を具現化するため、特に次の5点を編修の基本方針とする。

- ことばと人間との関係やことばと社会との関係など広くことばへの関心を高め、豊かな言語観を育てる。
- ことば、文化、民族の多様性とその共存を国際理解の基本理念とし、国際感覚と国際協調の精神の育成を図る。
- 言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、中学校までに習得した能力を更に伸長させながら、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション能力の養成を図る。
- 実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割を重視し、生徒の興味・関心を喚起する題材内容を提示すると共に、対話的な学びや深い学びを引き出す統合的かつ創造的な言語活動を目指す。
- 生徒の段階に応じて自律的な学習のための支援を提供し、主体的な学びを促進するとともに、自ら学びに向かう力を養成する。

2. 対照表

図書の 構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材	①各課でとりあげた題材については、幅広く高校生の知的興味・関心を高めるものを選択し、「生きる力」を育成するに資するテーマを配置した。(第1号)	各 LESSON
	②物語教材においては、高校生の感性に訴える作品を配置した。(第1号)	ENJOY READING!
	③個人の能力や創造性を伸ばし、個性を発揮する中で、それらを将来の生活や職業に結びつけることができるような題材の課を設けた。(第2号)	LESSON 5, 6, 7
	④正義および自他の敬愛と協力など、社会への主体的な参画を扱った課を設けた。(第3号)	LESSON 2, 4, 9, 10
	⑤生命の尊重を扱った課を設けた。(第4号)	LESSON 5, 9
	⑥自然科学、環境を扱った課を設けた。(第4号)	LESSON 1, 2, 5, 10
	⑦日本の伝統文化および他国の文化を扱った課を設けた。(第5号)	PRE-LESSON 2 LESSON 3, 4, 6, 8 ENJOY READING!
	⑧平和を扱った課を設けた。(第5号)	LESSON 9
言語活動	①本課および各課末の言語活動は、取り組む生徒の個性、創造性が発揮されるようにした。(第2号)	各 LESSON 各課 TALK! PRACTICE! 各課 CHALLENGE YOURSELF!
	②本課および各課末、課間の言語活動においては、将来の職業の選択、環境問題、社会貢献、伝統と文化の尊重、生命と自然、平和の問題などについて、自分の考えをまとめて発信できるような題材を扱った。(第1号、第2号、第3号、第4号、第5号)	各 LESSON 各課 TALK! PRACTICE! 各課 CHALLENGE YOURSELF!
	③ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるように配慮した。(第3号)	各課 PRACTICE! 各課 CHALLENGE YOURSELF!
付録	生徒の自律的な学習を支える付録を配置した。(第2号)	二次元コード(新出語および本文音声、 題材リンク集) 付録(基本動詞の不規則変化、句読法、 英語の音)
登場人物	主な登場人物の配置および活動においては、男女・出身地域の偏りがないように配慮した。(第3号、第5号)	各 LESSON 各課 CHALLENGE YOURSELF!
構成	教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮した。(第2号)	目次、この教科書の使い方 各課 YOUR GOAL

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. 日本の文化については、理解するとともに発信していく態度を養えるように、題材や活動の面で配慮した。
2. 外国の文化については、英語を母語とする地域のみならず、国際理解の観点から他の地域の文化についても扱った。
3. ことばへの関心などについても、多面的に考えることができるように扱った。
4. 人間としての豊かな心や人間のもっている微細な感情を意識し、そしてまた、幅広い観点からものごとを考えることができるような習慣形成に資する題材を配置した。
5. カラーユニバーサルデザインの見地から、識別しにくい配色を避け、形や記号・番号、説明文などの補助を設けた。
6. 環境にやさしい教科書づくりを心がけた。用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した環境にやさしい紙を使用した。インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用した。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
106-189	高等学校	外国語	英語コミュニケーションⅠ	
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
15 三省堂	CⅠ 015-903	VISTA English CommunicationⅠ New Edition		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

学習指導要領の総則に示された教育の方針や高等学校外国語科の教科目標および本書の教育理念に基づき、教科書の構成・配列や各領域などの系統・内容に関して、特に以下のことに意を用いた。

(1)基本方針

- ①多様化している生徒の実態を考慮し、質量ともに充実を図る。
- ②中学校までの体験や学習を踏まえて、中・高の接続が円滑に図られるように配慮する。
- ③5領域のバランスを重視し、総合的・統合的に英語でのコミュニケーション能力が育成できるように、構成・内容を工夫する。
- ④教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイントなどが、生徒たちにわかりやすく提示され、主体的・協働的な学びを促進するとともに、自ら学びに向かう力が育成されるように配慮する。
- ⑤基礎的な知識や技能を確実に習得し、それらの知識や技能を目的や場面、状況に応じて活用できる力を、繰り返し段階的に育成できるような教科書構成にする。
- ⑥英語の文章を読んだり聞いたりすることにより、視野を広げ、ことば・文化・人間・社会・自然などについて考えたり、多くの人と関わる経験をする中で、思考力・判断力・表現力を養えるような配慮をする。また、そうした活動・体験を通して、他を受け入れ、個人の価値を尊重することのできる豊かな心を育成し、自分の考えや自分たちの文化を外に発信していける力を培える内容にする。
- ⑦学んだ内容の深化・発展に弾力的に取り組めるように、活動、巻末の付録などを充実させる。

(2)本書の特色と編修上の留意点

A. カリキュラムと分量

教材の精選をはかり、カリキュラムにゆとりをもたせた。

B. 題材内容

- 1) ことばの教育、国際理解教育、人間教育を題材内容の基本とし、これらの領域で生徒の知性や感性を考慮して、生徒の興味を喚起する内容にした。
- 2) 題材は、日常生活・学校生活、日本文化、比較文化、芸術、人間としての生き方、社会貢献、ことば、自然、環境、生物、歴史、科学、平和、産業、スポーツなど多様な内容にした。文章は、スピーチ、インタビュー、プレゼンテーション、対話、説明文、記事、物語など変化をもたせた。
- 3) 場面や登場人物は、英語が広く使われている現況と国際理解の課題との関係から、日本を中心に、英米を中心とした英語圏諸国、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、オセアニア、中南米の国および人物を配置した。

C. 言語材料の扱い

- 1) 言語材料は、活発で多様な言語活動を展開することができるように配慮した。
- 2) 「文法事項」は表現活動に活用することを基本として、「英語コミュニケーションⅠ」では、より基本的な文法事項を扱った。
- 3) 「文構造」は、英語で言語活動を行うにあたって使用できるように、より運用度が高いものを扱った。

- 4) 高校入門期には、「Get Ready!」「ののちゃんの英文法」を設けて中学校における基本項目の確認とし、本課に負担なく移行できるように配慮した。
- 5) 本課の前に「PRE-LESSON」を設けて、段階を踏んで本課へ移行できるように配慮した。
- 6) 基本文は「STUDY IT!」で示し、既習語による文として提示した。
- 7) 「単語」は、中学校までの既習語を 2,207 語とし、それ以外の語を新出語として側注で示すなどした。また、「連語・熟語」「表現」については、脚注下段で示した。
- 8) 「音声」については、標準的な米音を基本とした。

D. 言語活動

言語活動は、主に本課本文、「TALK!」「PRACTICE!」「CHALLENGE YOURSELF!」などで言語の「使用場面」を考慮し、目的や場面、状況に応じてコミュニケーションを図れるように配慮した。また、5 領域の総合的・統合的な関連を図り、思考力・判断力・表現力を養成できるように工夫した。「言語の働き」についても留意し、特に会話で多用される慣用的な表現について、中学校までの学習を踏まえながら、基本的なものを精選して系統的に扱った。

E. 本書の構成と内容

- 1) 各課の本文は、5 領域の能力の伸長を目指す総合的な教材とした。各課のセクション数は原則として 2～3 で構成されている。
- 2) 本課の基本文は「STUDY IT!」で示し、本文にもマークを付し、課末でまとめて解説した。
- 3) 各ページの側注には新出語、脚注の上段には基本文を示す「STUDY IT!」、下段には熟語・連語、表現を配置した。
本文使用語のうち、中学校までの既習とみなした語は、巻末「WORD LIST」の中で太字体（ボールド体）で示した。
- 4) 各課の始めの「YOUR GOAL」では、生徒がその課の学習の見通しを立てられるようにした。また、「WARM UP!」と「QUIZ!」を設け、生徒がすでに身につけている題材の背景的知識を活性化させたり情報を得たりするための支援とし、題材内容を補うための情報を扱う「MEMO」を配置した。
- 5) 各課の問題・活動等は、セクションごとの「CHECK!」「SUM UP!」「TALK!」「THINK!」、各課末の「PRACTICE!」「REVIEW!」「CHALLENGE YOURSELF!」で構成し、5 領域の言語活動が総合的・統合的に行われるように配慮した。
「CHECK!」「THINK!」は本文の内容に関する問い、「SUM UP!」は本文内容の要約、「TALK!」は本文内容に関連した質問に自分のことについて答える活動とした。
「PRACTICE!」の「TRY」はターゲットとなる文法事項を用いた対話や発表の活動とした。また、音声指導のための音の連結・強勢・イントネーション・区切り・母音や子音などを扱う「SAY IT!」を適宜配置した。
「REVIEW!」は課全体の本文内容を要約する活動、「CHALLENGE YOURSELF!」は、本課の題材に関連した内容で段階を追って自分のことについて発信するための、領域統合的な言語活動に資するものとした。
- 6) 「ENJOY COMMUNICATION!」では、日常会話の中で使われる特有な表現の基本的なものを扱った。
- 7) 「Look and Learn」を設け、文法事項の整理と確認に資した。
- 8) 「Take a Break!」では、漫画、英語の歌、世界の料理を扱った。
- 9) 巻末付録には、「基本動詞の不規則変化」「句読法」「英語の音」を配置し、「WORD LIST」では、中学校までの既習とみなした語（2,207 語）と「英語コミュニケーション I」の新出語（406 語）を掲載し、その初出ページを示した。

2. 対照表

	図書の構成・内容 (■=LESSON など ●=課間 ◆=巻頭 ○=付録)	学習指導要領 の内容
音声	■New Words 欄 本文中の新出の語を提示し、発音記号を付した。 ■SAY IT! 本文を素材に、強勢やイントネーションや区切り、音の連結や母音・子音などを扱った。 ○英語の音 付録で母音や子音の発音や音声の特徴を扱った。	(1) ア (ア) (イ) (ウ)
句読法	○例文とともに、説明を記した。 *その他、LESSON や ENJOY READING! などの本文中で適切に取り扱った。	(1) イ (ア) (イ) (ウ)
語、連語および慣用表現	■New Words 欄 本文中の新出の語を提示した。重要度の高いものについては太字で示した。 ■脚注欄 本文中の連語、慣用表現、短縮形などを提示した。 ○WORD LIST 本文に出てくる語および中学校までの既習と見なした語について、アルファベット順に示し、品詞や意味などを提示した。	(1) ウ (ア) (イ) (ウ)
文構造および文法事項	◆ののちゃんの英文法 中学校で学んだ基礎的な文法事項をふり返り、高等学校の英語学習内容への橋渡しとなるよう配慮した。 ■STUDY IT! 各 LESSON 配当の文法事項を提示し、イラスト付きで解説した。 ●Look and Learn 関連のある文法事項をまとめ、英文と訳を掲載した。 ◎基本動詞の不規則変化 不規則動詞のうち基本的な語の変化形を掲載した。 *各 LESSON で学習する文法事項は本文にマークが付され、段階的に配列された言語活動 (PRACTICE!, TRY) の中で実際に使っていく。特に TRY においては、実際のコミュニケーションを体験しながら学習事項が定着するよう配慮した。 *ひとつ前の LESSON で学んだ文法事項は本文にマークが付され、繰り返して定着するよう配慮した。	(1) エ (ア) (イ)
言語活動① (聞く・読む)	■LESSON 概要や要点などを捉えたり、自分の考えをまとめたりする。 ■ENJOY READING! 物語の登場人物の気持ちなどを考え、楽しみながら読む。 ■CHALLENGE YOURSELF! 聞いたり読んだりした情報について、概要や要点などを捉える。	(2) ア
言語活動② (話す・書く)	■TALK! 本文内容に関する質問に答えて対話し、要点や意図などを明確にしながら自分の考えなどを伝え合う。 ■CHALLENGE YOURSELF! 伝える内容を整理して話したり書いたりし、要点や意図などを明確にしながら情報や自分の考えなどを伝え合う。	(2) ウ
言語活動③ (領域統合型)	■CHALLENGE YOURSELF! 領域統合的に、聞いたり読んだりしたことについて、得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして情報や自分の考えなどを表現する。	(2) イ
聞くこと	■LESSON 本文内容の概要や要点を捉える。 ■CHALLENGE YOURSELF! 情報を聞き取り、話し手の意図、概要や要点を捉える。また、聞き取った内容について自分の考えや感想を話したり書いたりして伝え合う。	(3) ① ア イ (ア) (イ)
読むこと	◆Get Ready! 2 辞書の使い方を確認できるようにした。 ■LESSON 本文内容の概要や要点を捉える。聞き手に伝わる音読をする。 ■CHECK! 本文内容の要点を捉えて話して伝える。 ■SUM UP! 本文内容の概要を捉えて書いて伝える。 ■THINK! 本文内容の要点を捉える。 ■REVIEW! 本文全体の内容の概要を捉えて、話したり書いたりして伝える。 ■CHALLENGE YOURSELF! 書き手の意図、情報の概要や要点などを捉える。また、読みとった内容を参考に自分のことを話したり書いたりして伝え合う。 ■ENJOY READING! 物語の概要や要点を捉える。聞き手に伝わる音読をする。	(3) ① ア ウ (ア) (イ)

話すこと [やり取り]	◆Get Ready! 3 中学校で学んだクラスルームイングリッシュの表現をふり返り、英語で行われる授業の進行を促すようにした。 ◆ののちゃんの英文法 中学校で学んだ基礎的な文法事項をふり返りながら、対話をして、情報や考えなどを伝え合う。 ■TALK! 本文内容に関する質問に答えて対話し、自分の考えなどを即興で話して伝え合う。 ■PRACTICE! ターゲットとなる文法事項を含む対話をして、自分の考えや気持ちなどを伝え合う。 ■CHALLENGE YOURSELF! 聞いたり読んだりした情報について、自分の考えなどを賛成や反対の立場から理由や根拠とともに話して伝え合う。また、やり取りした内容を踏まえて、自分の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする。 ●ENJOY COMMUNICATION! 日常会話でよく使われる表現を用いて、情報や気持ちを伝え合う。	(3)① ア エ(7)(イ)
話すこと [発表]	◆ののちゃんの英文法 中学校で学んだ基礎的な文法事項をふり返りながら、情報や考えなどを発表して伝える。 ■PRACTICE! ターゲットとなる文法事項を含む文を発表して、自分の考えや気持ちなどを伝える。 ■CHALLENGE YOURSELF! 聞いたり読んだりした情報をもとに、情報や考えや気持ちなどについて、理由や根拠とともに話して伝える。また、発表した内容について、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合う。 ●Look and Learn 取り上げている文法事項を含む文を発表して伝える。	(3)① ア オ(7)(イ)
書くこと	◆Get Ready! 1 中学校で学んだアルファベットの書き方をふり返り、書く活動をする。 ■PRACTICE! ターゲットとなる文法事項を含む文を書いて、自分の考えや気持ちなどを伝える。 ■CHALLENGE YOURSELF! 聞いたり読んだりした内容をもとに、情報や考えや気持ちなどについて、理由や根拠とともに段落を用いて書いて伝える。また、書いた内容を読み合い、質疑応答をしたり、意見や感想を伝え合う。	(3)① ア カ(7)(イ)
言語の 使用場面 ・ 働き	■LESSON 本文、PRACTICE!、CHALLENGE YOURSELF! ■ENJOY READING! 本文 ●ENJOY COMMUNICATION! 本文 *言語の使用場面や言語の働きについて、各単元で取り扱うよう適切に配置した。	(3)② ア(7)(イ)(ウ) イ(7)(イ)(ウ) (エ)(オ)

※配当時間については、別記カリキュラム表を参照。

(別記) カリキュラム表

G = Get Ready!, P = PRE-LESSON, L = LESSON, ER = ENJOY READING!
新出単語数(406), 年間配当時間(61)

課	タイトル	主な言語材料	題材／場面	働き	L	R	S や	S 発	W	配当時間
G1	アルファベットを書いてみよう		地理・歴史	説明する		○			○	1
G2	辞書で調べてみよう		情報／学校生活	説明する、質問する		○			○	1
G3	言ってみよう 使ってみよう		日常生活／学校生活	質問する、謝る、命令する、誘う	○	○	○			1
	ののちゃんの英文法	主語・be動詞・一般動詞・ 目的語・形容詞・副詞・前置 詞・冠詞	日常生活／学校生活	説明する、質問する		○	○	○		2
P1	Hello, Kai! Hi, Emma!	be動詞の現在形	自己紹介／学校生活	説明する、質問する		○	○			1
P2	I Love Manga!	一般動詞の現在形	自己紹介／学校生活	説明する、質問する、謝る		○	○			1
L1	The Aurora	be動詞・一般動詞の過去形	科学・日常生活／家庭生活・旅行	報告する、説明する、描写する	○	○	○	○	○	4
L2	Soy Meat	現在進行形・過去進行形	社会・食文化／学校生活	質問する、話題を発展させる	○	○	○	○	○	4
	Look and Learn 1	代名詞・基本文型(1)・いろ いろな文・基本文型(2)				○		○		1
	Take a Break! 1		日本文化／家庭生活			○				1
	ENJOY COMMUNICATION! 1		社会・日常生活／買い物	提案する、説明する、断る	○		○			1
L3	Capsule Toys	助動詞	日本文化・日常生活／家庭生活	説明する、描写する	○	○	○	○	○	4
L4	Pictograms	動名詞	社会・芸術／学校生活	説明する、描写する、主張する、 理由を述べる	○	○	○	○	○	4
L5	We Are Part of Nature	不定詞	自然・人間／インタビュー・地域 での活動	質問する、申し出る、話題を発展 させる、話題を変える	○	○	○	○	○	4
L6	A Small, but Happy Country	現在完了形	地理・文化／電子メール	説明する、描写する、望む、理由 を述べる	○	○	○	○	○	4
L7	AI and Sports Refereeing	受け身	科学・スポーツ／学校生活	説明する、相づちを打つ、例示す る、主張する	○	○	○	○	○	4
	Take a Break! 2		文化／英語の歌		○	○				1
	ENJOY COMMUNICATION! 2		社会・日常生活／食事	提案する、主張する、承諾する	○		○			1
L8	Is There a Santa Claus?	名詞を修飾する分詞	文化／新聞・学校生活	説明する、依頼する、理由を述べ る、描写する	○	○	○	○	○	4
L9	Kids' Guernica	関係代名詞	平和・芸術／地域での活動	説明する、報告する、主張する	○	○	○	○	○	5
L10	Ethical Fashion	比較	環境・社会／学校生活・地域での 活動	提案する、賛成する、質問する、 説明する、理由を述べる	○	○	○	○	○	5
ER	Time Noodles	関係副詞・仮定法過去	日本文化／日常生活・食事	相づちを打つ、感謝する、褒め る、質問する、話題を変える	○	○	○	○	○	4
	Look and Learn 2	関係副詞・仮定法過去・知覚 動詞＋目的語＋動詞の原形・ 過去完了形・過去完了進行形				○		○		1
	Take a Break! 3		地理・伝統文化／家庭生活			○				1
	ENJOY COMMUNICATION! 3		社会・日常生活／道案内	質問する、繰り返す、説明する	○		○			1
	IDEA BOX PLUS／基本動詞の不規則変化／句読法／英語の音／WORD LIST					配当時間合計				61